

令和元年 11月1日

第70号

令和元年9月定例会の
内容をお知らせします。

市議会
だより
かけかわ


おもな内容

- P2 シリーズ「議会のとびら」第1回
- P3 補正予算の概要／決算の概要
- P4 常任委員会の議論から
- P5 一般質問
- P11 審議結果一覧
- P12 未来日誌／議会報告会開催案内／
視察受け入れ実績／傍聴席／表紙の説明

シリーズ 議会のとびら 1

今号からシリーズ「市議会って？」をリニューアルし、市民のみなさんに市議会をより身近に感じていただくために、市議会や市政の情報をタイムリーで紹介するコーナー「議会のとびら」をお届けします。

今回は、
防災について



災害は忘れる間もなくやってくる!!

ここ数年頻発する地震や豪雨災害に対し、テレビ等の映像を見て、市民のみなさんは「我がこと」と考え災害を想定し、行動出来ますか？市議会では、平成30年度防災意識向上特別委員会において、「掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例」と「議会BCP」を制定しました。



掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例

普段の生活の中で、常に災害を我がことと意識し「災害は今起きるかもしれない」「今起きたらどのように行動しよう」と考えることが重要です。災害が起きてからのことではなく、起きる前に行動することに大きな意味があります。条例では**市民・事業者・市**の役割を明記しました。

- | | | |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #00695c;">市民の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら災害、防災情報を収集する ・ 食料の備蓄 | <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #c0392b;">事業者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員への防災教育 ・ 来客者等に対する避難経路の周知、アナウンス | <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #0070c0;">市の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の災害事例を検証、反映 ・ 防災教育の充実 |
|---|---|---|

議会 BCP

BCPとは業務継続計画のことを言います。災害が発生したときにできるだけ早く通常の業務に戻す必要があります。このため、災害時における議員の役割と行動指針を明記した計画をつくりました。

議会 BCP 策定の目的

議会の機能回復を図り、市民ニーズを的確に反映した復旧・復興に早期に取り組む。

議会 防災訓練

9月1日、掛川市総合防災訓練に合わせ、議会BCPを検証するため議会防災訓練を実施しました。

LINE を使用しての「安否確認」、BCP発動による全議員を招集した「議会災害対策全体会議」を開催し、LINE 使用や情報の共有について課題があがりました。

有事の際に実行性のある計画となるよう今後も訓練を重ねていきます。



全議員による議会災害対策全体会議（訓練）の様子

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

幼児教育・保育無償化経費追加

1億6,516万円

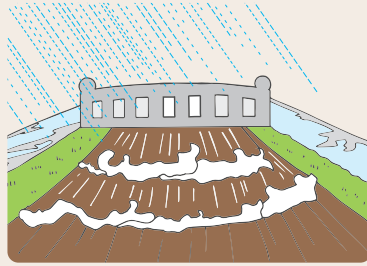
幼児教育・保育の無償化に伴い、園の運営費のうち無償となる保育料で賄っていた部分と、子ども子育て支援新制度の対象とならない幼稚園保育料、預かり保育や認可外保育施設利用料などを、国・県・市で負担及び一部市単独で助成する。



災害復旧費追加

7,166万円

7月22日の大雨により被害を受けた農業施設や市道の路肩、河川の護岸、市営住宅などを復旧するため工事を行う。

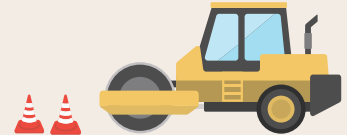


公共道路等整備事業・道路舗装改良及び

歩道改良事業費増額

2億8,766万円

国庫支出金の増額に伴い、桜木中横断線ほか4路線の施工範囲を拡大する。また、南郷五百済線ほか2路線の舗装改良や額向東大谷線ほか7路線の歩道改良を行う。



平成30年度

一般会計歳入歳出決算など各種会計決算を認定

平成30年度決算概要

■一般会計

歳入決算額 474億 3,267万円
歳出決算額 458億 4,129万円

■特別会計

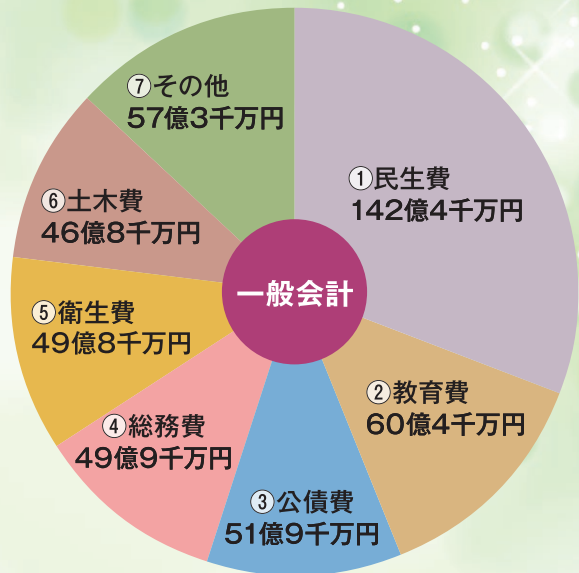
歳入決算額 265億 230万円
歳出決算額 254億 6,276万円

*特別会計とは、国民健康保険、介護保険、下水道事業など15会計です。

■水道事業会計(収益的収支*)

収入決算額 31億 5,514万円
支出決算額 27億 9,737万円

*収益的収支とは、1年間の事業活動に関する水道料金などの収入と、受水費、修繕費、職員の給与などの支出です。



- ① 民生費 31.1% 児童高齢者、障がい者の福祉推進など
- ② 教育費 13.2% 学校の管理運営や教育施設の充実など
- ③ 公債費 11.3% これまでの施設整備などで借りたお金の返済に
- ④ 総務費 10.9% 総務、財産管理、広報広聴、協働のまちづくりなど
- ⑤ 衛生費 10.9% 市民の健康づくりや、ごみ、し尿の処理など
- ⑥ 土木費 10.2% 道路、河川、公園の整備など
- ⑦ その他 12.4% 労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、議会費

常任委員会の議論から

各常任委員会に付託された平成30年度の各種会計決算の、議案に対する質疑等の内容を委員長報告より抜粋してお知らせします。

総務委員会

委員長 小沼秀朗

基金のあり方について

Q 財政課に対し、今後の基金のあり方、見通しを伺う。

A 財政調整基金は市税の20%、40億円を毎年確保に努め、公共施設整備基金はマネジメントの観点で計画的に積み立てる。

マイナンバーカードの交付率について

Q 交付率 10.2%で、市民の9割がマイナンバーカードを持っていない現状をどう考えるか。

A 今後、健康保険証としての機能やマイナポイントを活用した消費活性化策などメリットを感じて頂ければ交付率が上がると考える。

消防団福利厚生事業助成金について

Q 消防団員のなり手不足に家族の協力は不可欠であるが、消防団福利厚生事業助成金63万円は入団に繋がるのか。

A 市内13カ所の施設利用券の他「消防団応援の店」を募り、入団して良かったと家族にも喜ばれるよう取り組む。

環境産業委員会

委員長 山本裕三

葛布産業振興について

Q 葛布産業振興支援業務委託の結果と今後の展開を伺う。

A 葛のレトルトカレーや葛酵母でつくった日本酒、パンの製造、また葛の繊維を混入した紙製品の開発を行っている。最終的には国の伝統工芸品を目指している。

危険箇所通報システムの導入について

Q 交通安全施設整備事業費に関して、地図アプリで市民が道路の危険箇所を通報するシステム導入の検討は行っているのか。

A 現在、災害情報の通報を地図アプリで行う試験を行っている。今後、危険箇所を通報するシステムにも繋げていきたい。

掛川駅周辺施設管理特別会計について

Q 駅前の害鳥対策手数料について効果と今後の対応を伺う。

A 鷹匠による追い払いでムクドリは減少したがスズメは増えている。根本的解決には至っていないが、今後も鷹匠による追い払いを続ける。

文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

ことばの教室事業費について

Q 発達に問題のある園児がことばの教室に通級するのではなく、療育できる場へのすみやかな移行が必要との説明を受けたが、現在の状況を伺う。

A 関係部署と施設整備等について協議しながら、解決策を東遠学園組合等と調整している。

肺炎球菌ワクチン接種委託料について

Q 高齢者の肺炎予防や、医療費を削減するためワクチン接種は必要であるが、どのようになっているか。

A 今後5年間、肺炎球菌ワクチン接種を継続していきたい。

国民健康保険特別会計について

Q 保険給付費についてどのようなことを見通して、予算立てを行っているのか。

A 過去5年間の1人当たりの医療費の伸び率や、うるう年で1日多い年は給付費が増えるなどその年の暦によっても増減があり、それを加味する。



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
松浦昌巳

有機栽培推進に向けた支援対策を

Q 茶の販売戦略の一環で、輸出を考えた有機栽培を推進するにあたり、知識や技術支援に合わせ有機認証機関の助成金等支援を考えられないか。



今後有機栽培に取り組む茶畑

有機栽培転換を検討する生産者の支援に努める

A 平成29年度から輸出戦略事業の1つとして国の地方創生推進交付金を活用して、有機栽培への転換に対する補助事業を実施しています。また、次年度以降も国の持続的生産強化対策事業等にも有機栽培への転

換に対する支援がありますので、農協や静岡県などの関連機関とも緊密に連携しながら、有機栽培転換を進める生産者の支援に努めます。

災害を想定した予防的改修工事推進のための基金設立を

Q 豪雨災害などで被害が出た場合、現状復旧を行っているが、今後は、被害が生じた根本的な原因を明確にし、災害を想定した予防的改修工事を行うための「基金」を設立できないか。

既存の基金で対応できるよう検討していく

A 新たな基金の創設ではなく、3億円を目標に企業や市民に協力をいただいている「掛川市地震・津波対策寄附金」を予防的改修工事にも活用できるように検討していきます。

【その他の質問事項】

・多文化共生と外国人児童・生徒の対応について



共に創る掛川
鈴木久裕

運転免許証自主返納者等への交通手段確保の支援策拡充を

Q 現在の支援策は、バス・天浜線・タクシーの利用助成券、一年限りで1万円が限度であるが、電動アシスト車両など自力交通用具の購入助成も含め、充実していく必要があるのではないかと。



どのような支援策が効果的か検討していく

A 自主返納者への支援として、県内で自力交通用具等の購入助成を行っている市町はありますが、人生100年時代を迎えるにあたって、高齢者がいきいきと行動でき、日常生活の移動手段の確保やどのよう

な支援策が効果的か検討していきます。

土地条例「飛鳥地区」まちづくり計画事業の現状と今後は

Q 県の内陸フロンティア事業の位置付けも取り下げられ、当初の住宅地開発計画は、事実上頓挫しているが、市からは地元に対しここ数年説明もない。現状と今後について、速やかに説明や協議をすべきではないか。

地元との相談も含め今後の方向性を検討していく

A 飛鳥地区まちづくり計画協定は、土地等所有者の8割以上の同意を得て、締結したものです。見直すことについては、多くの関係者との調整が必要となります。今後どのようにしていくのがよいか、検討していきます。

【その他の質問事項】

・会計年度任用職員制度の導入に関する諸課題について



日本共産党
勝川志保子

通学路の安全確保のために市として迅速な対応を

Q 児童数の急増などで危険度が高い通学路などの整備や、民有地ブロック塀の撤去は、教育委員会や地域任せにせず、全庁的な責任体制で迅速に対策を取るべきでは。

既存の組織を活かした対応の充実に努める

A 関係部署との連携強化を図ることで、対策事業の実施に繋げた事例がありますので、既存の組織を活かした対応の充実に努めます。



歩道が狭く危険な通学路

市役所雇用に広がる非常勤職員の待遇の改善を

Q 司書や保育士など、専門職種も多く含む非常勤職員は、資格、能力、経験などに見合うように、給与や待遇など雇用の改善を。

業務内容を考慮しながら検討していく

A 職種ごとに資格による専門性や職務の困難度を勘案して初任給を設定し、勤務評価が良好であれば上限まで毎年度昇給するとともに、期末手当についても常勤職員と同じ月数分を支給する予定です。また、勤務条件では、国に倣い、特別休暇を新設するなど、職務に応じた待遇になっています。今後、業務内容を考慮しながら検討していきます。

【その他の質問事項】

・有権者の選挙権行使を保障する選挙のあり方は



至誠の会
鷺山喜久

製造品出荷額が平成21年から県内市の部で6位に

Q 掛川市の工業製造品出荷額は、平成21年から、県内23市中毎年6位である。統計によると、出荷額は多い年で1兆6112億円。少ない年で1兆200億円である。このままでは、他市に追い抜かれる。1位は浜松市から静岡市に変わった。本市の順位が下がった主な理由と順位をあげていくために市としての方策を伺う。

地域の産業力を強化していく

A 出荷額の減少は、リーマンショックの影響のほか、情報通信機器製造業に属する大手企業の撤退や、小規模事業所の合併や廃業などにより、事業所数が平成20年の436件から平成28年は349件と87件、2割程度減少したことが原因と考えています。掛川市が持続的に成長するため

には、基幹産業である製造業の活性化が不可欠です。引き続き既存企業の支援に努めるとともに、今後、成長が期待される次世代自動車や光・電子技術分野などの産業を誘致することで、地域の産業力を強化していきたいと考えています。その結果、工業出荷額の回復が図られ、順位を上げることができれば大変うれしく思います。



エコポリス案内看板

【その他の質問事項】

・基金の運用等について
・内陸フロンティア推進区域内、産業集積推進区域3カ所、整備推進区域1カ所について



共に創る掛川
富田まゆみ

配慮が必要な児童生徒への支援拡充を

Q 発達障がいなど、特別な配慮が必要な児童生徒が7年前から倍増し、9月時点で1207名となっている。児童生徒を支援する学校サポーターの増員が急務と考えるが、いかがか。



学習支援を行う学校サポーター

学校サポーターを増員配置できるように努める

A 近年、発達障害に対する市民の認識が広まってきていることもあり、掛川市に限らず全国的に特別な支援を要する児童生徒数が増加しています。掛川市としては、今後学校サポ

ーターを増員配置できるように努めていきます。

学校図書館の充実を

Q 読書・学習・情報・教材・コミュニケーションなどの機能を併せ持つセンターとして児童生徒に同じ環境が提供できるように、図書標準の達成や司書配置を進めるべきと考えるが、いかがか。

学校司書を増員しながら学校図書館の機能充実に努める

A 学習センター、情報センターである学校図書館の充実には、学校司書の果たす役割が欠かせません。令和3年度を目処に、小・中学校15校に1名程度の配置となるよう増員に努めているところです。学校司書の配置を拡充し、今後も、学校図書館の機能充実に努めていきます。



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
藤澤恭子

発達障がい児(者)の支援のための早急な環境整備を

Q 発達障害者支援法に基づいた発達障がいの早期発見と、適切な対応ができる環境整備が早急に必要であるが、市長の見解を伺う。

東遠学園組合構成市町で検討をすすめていく

A 現在、掛川市では、赤ちゃん訪問から乳幼児健診等により早期発見に努めています。専門の関係機関と連携し早期から適切な支援に繋がる体制は整っています。この中で診療が必要なケースについては、医療機関の受診を勧めています。また、療育ができる場としては、東遠学園組合が運営する「こども発達センターめばえ・みなみめばえ」などがありますが、定員いっぱいのため、現在組合構成市町で施設の拡充を検討

しています。その中で発達障がい児も受け入れができるよう、併せて協議していきます。



ご不幸に寄り添う手続きのワンストップ化の検討を

Q お悔やみ相談窓口の設置や相談員の配置を検討できないか伺う。

設置に向け検討をしている

A 相談窓口の設置に向け、関係する各課手続きの洗い出しやサポート内容、専任職員の配置等、ご遺族と掛川市にとつてどのような体制が望ましいか検討をすすめています。

【その他の質問事項】

・掛川市のスポーツ、文化活動における大会出場報奨金について



創世会
榛村航一

東京女子医科大学 掛川キャンパスの積極的活用を

Q 市南部の地域医療機能強化とともに、初診を受けられゆりかごから墓場までをケアでき、市民・研修医の生涯学習の場となる「地域生涯医療センター」の設置を提案するべきと思うが、市の見解を伺う。

A 東京女子医科大学へは、掛川キャンパスで予定しているエンド・オブ・ライフケアを中心とした専門職や市民の学びや、「生涯健康支援教育研究センター」機能の他に、診療所機能の検討を要望しており、大学と連携して医師等の専門職を呼び込めればと考えています。

リニア中央新幹線問題に利水者として積極対応を

Q 掛川の「命の水」を守り、南アルプスの希少価値の高い自然環境を守っていくためにも、リニア問題を考えるシンポジウムを掛川で開催したら良いと考えるが、市の見解を伺う。

A リニア工事によるトンネル湧き水の全量を戻すこと及び、万一、経済活動に支障が出た場合は、水資源の確保ができる対策が必要と考えています。今後も、事業の推移を注視し、流域関係者による大井川利水関係協議会の一員として、JR東海に働きかけをしていきます。また、市民に今の状況を知ってもらう機会を検討していきます。



準絶滅危惧種のヤマトイワナ
南アルプスに生息する



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
窪野愛子

公共施設マネジメントの推進には(仮称)公共施設見直す課の創設を

Q 公共施設マネジメントを着実に進めるには、全職員の意識改革を図り、市民の皆様にもご理解とご協力をお願いするために、分かりやすい名称の専任体制の構築と組織強化が必要と思うがいかがか。

A 本年度に再配置方針を策定し、この方針に基づき、来年の秋を目途に再配置計画を策定していくので、その後、公共施設マネジメントを行う専任部署の設置について検討していきます。

消防救急体制の充実と適正利用の啓発は

Q 平成30年に医療機関に搬送した約6割の方は軽症者であった。不要不急の救急車の利用を抑制する対策をどのように講じたのか。救急出動の件数を減らすための、救急車の適正利用啓発について伺う。

A 広報への掲載のほか、f. チラシ作成やイベントなどで普及啓発活動に取り組む。a. n. 地域医療を育む会と協働で行う救急講習会や消防が企画する研修などの場で、広く普及啓発を行っています。今後は、より効果的なチラシを作成し、消防フェアや各種イベントにて活用するなど、更に普及啓発に取り組んでいきます。





創世会
松本 均

市役所議場付近に点字ブロック設置を

Q 開かれた議会を目指し、市役所内議場付近までの、点字ブロックを設置し、視覚障がい者等の議会傍聴を、安全で安心できるようにできないか伺う。

点字ブロックなどの施設整備等を検討する

A 議場付近の障がい者への対応については、点字ブロックなどの施設整備のほか、職員などの介助について併せて検討していきます。



ひきこもり、不登校担当課の設置を

Q 今後大きな社会問題となりうる、不登校やひきこもりについて、市役所内に専門的に対応できる、担当課を設置できないか伺う。

相談しやすい体制を検討していく

A 健康福祉部、教育部、こども希望部の関係部署が集まり、今後の連携体制やひきこもり対策にかかる協議を行っています。ひきこもりの方やそのご家族がどういう形であれば一番相談しやすい体制となるのか、検討していきます。



横須賀高校は必ず存続させる

Q 県教育委員会は、昨年3月横須賀高校と池新田高校を令和8年度(2026年度)を目途に、新構想高等学校に改編統合することを正式に公表した。横須賀高校は絶対存続させなければいけない。今後の市の対応について伺う。

横須賀高校の存続を強く求めていく

A 両校の改編そのものに反対の立場であり、これまで川勝知事、木苗教育長をはじめ各方面に面会し、横須賀高校の存続をお願いしてきています。横須賀高校が、真に魅力ある高校として存続するよう、引き続き、県教育委員会に強く要望していきます。



創世会
寺田 幸弘

海岸防災林強化事業の整備状況は

Q 津波対策として、平成26年から始まった遠州灘海岸の防潮堤建設事業は本市の防潮堤完成までに12年かかる予定である。計画通りの進捗状況であるのかを伺う。

若干計画より遅れている

A 平成27年度に策定した「掛川モデル基本計画」では今年度末の進捗率を40%に設定しています。しかし、昨年度から本年度にかけて予定していた「関東地方整備局管内の道路事業で発生する土砂」などの受入が不可能となったことにより、今年度末進捗率の見込みは36.9%と若干計画よりも低い状況となっています。



地域の方々が集う横須賀高校



創世会
藤原 正光

**三熊野神社の祢里行事を
国の重要無形民俗文化財
指定に**

Q 市長が旗振り役として先頭に立って、調査には高校生にも手伝いをお願いし、次世代への継承を図り、また、市内全域に機運を醸成させながら、国の重要無形民俗文化財指定を目指してはいかがか。

市民みんなで国指定に向けた機運を高めていく

A 三熊野神社の祢里行事は、掛川市が誇るべき貴重な民俗文化財と考えています。国からの補助金を受けながら、令和2年度から3年かけて学術的な調査を進め、国の指定に向けて全力で取り組んでいきます。調査にあたっては、祭りに対する理解と愛着が一層深まり、後継者育成のきっかけになると考え、



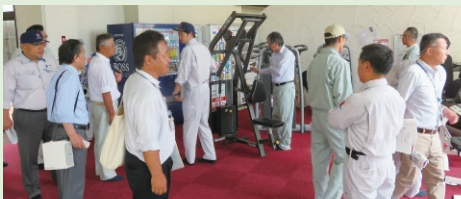
国選択無形民俗文化財に選ばれた三熊野神社大祭の祢里行事

地元高校生などに関わっていただく体制を検討していきます。また、市内全域に機運を醸成していくために、ホームページや広報などの公共の掲示板等で、国指定に向けた横須賀地区住民の取り組みの様子をPRしていきます。さらには、横須賀高校郷土芸能部や三社祭礼囃子保存会の皆様の実演を、SNSで発信することなど、広く市民に紹介し、祢里行事の価値を理解していただき、市民みんなで国指定に向けた機運を高めていきたいと思います。

**常任委員会で
公共施設マネジメント*
について調査研究**

*公共施設マネジメント

市が所有する公共施設の老朽化問題に対して、安全・安心かつ持続的に公共施設を維持・更新するための取り組み。



現地視察 (大東温泉シートピア)



他市の温泉施設を調査 (牧之原市)

環境産業委員会
持続可能な温泉施設のあり方



現地視察 (西郷みらい館〈旧三笠幼稚園〉)



現地視察 (原田ふくし館〈旧原田幼稚園〉)

文教厚生委員会
教育施設の未来に向けての
適正配置



市内中高生とテレビ会議 (掛川西高等学校、大浜中学校、掛川西中学校)



現地視察 (大東支所旧議場)

総務委員会
大東支所をモデルとした公共施設の今後の有効活用

9月定例会における審議結果一覧

■全会一致で可決・認定・受理

予算	○令和元年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
条例	○掛川市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について
	○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
	○掛川市印鑑条例の一部改正について
	○掛川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
	○掛川市手数料条例の一部改正について
	○掛川市消防団条例の一部改正について
その他	○平成30年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について
報告	○健全化判断比率の報告について ○資金不足比率の報告について
議発	○「地震財特法の延長に関する意見書」の提出について(国へ提出)
	○「中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書」の提出について(国・県へ提出)

決算	○平成30年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	○平成30年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
○平成30年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
○平成30年度掛川市水道事業会計決算の認定について	

■全会一致で趣旨採択(環境産業委員会で審査)

主要農作物の種子生産に係わる県条例の制定を求める意見書の提出に関する陳情書
 〈結果〉食の安全を守りながら、地域でしっかりと地場産品を育てていくべきと考える。県の動きを見ながら、必要があれば意見書を出していく。

■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ○賛成 ×反対

議案名	議員名	創世会										AMK*		共掛*		至*		志*		共*	
		大石 勇*	寺田 幸弘	藤原 正光	榛村 航一	嶺岡 慎悟	山本 裕三	松本 均	小沼 秀朗	二村 禮一	鈴木 正治	藤澤 恭子	松浦 昌巳	窪野 愛子	山本 行男	鈴木 久裕	富田 まゆみ	鷺山 喜久	草賀 章吉	勝川 志保子	
○令和元年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○令和元年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○令和元年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○掛川市立幼稚園保育料等徴収条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○平成30年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○平成30年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○平成30年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○平成30年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

*議長(大石 勇)は、採決には参加しません

*AMK▶アクティブマネジメント・公明クラブ 共掛▶共に創る掛川 至▶至誠の会 志▶志誠会 共▶日本共産党

未来日誌

11月

- 11日(月) 9:00 ○全員協議会
- 20日(水) 9:30 ○本会議(開会・議案の提案理由説明)
- 25日(月) 9:30 ○広報広聴特別委員会/議会だより編集分科会

12月

- 4日(水) 9:00 ○本会議(一般質問)

- 5日(木) 9:00 ○本会議(一般質問)
- 6日(金) 9:00 ○本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
本会議終了後 ○常任委員会
- 9日(月) 9:30 ○広報広聴特別委員会/議会報告会分科会
- 11日(水) 9:30 ○常任委員会協議会
- 20日(金) 9:30 ○本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)
- 26日(木) 9:30 ○広報広聴特別委員会/議会だより編集分科会

1月

- 8日(水) 9:30 ○広報広聴特別委員会/議会だより編集分科会
- 20日(月) 9:00 ○全員協議会

※10月8日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

議会報告会を開催します

報告の内容 …… 常任委員会の取り組みについて

- 総務委員会：大東支所をモデルとした公共施設の今後の有効活用
- 環境産業委員会：持続可能な温泉施設のあり方
- 文教厚生委員会：教育施設の未来に向けての適正配置

開催日	地域	会場
11月 4日(月)	原野谷中学校区	原谷地域生涯学習センター
11月 5日(火)	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター
11月 6日(水)	城東中学校区	大東北公民館
11月11日(月)	北中学校区	西郷みらい館
	東中学校区	南郷地域生涯学習センター
11月12日(火)	栄川中学校区	東山口小学校体育館
11月13日(水)	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター
11月14日(木)	西中学校区	市役所4階会議室1-A・B
11月22日(金)	桜が丘中学校区	桜木ホール

※開催時間はすべての会場、午後7時からです。(報告内容は各会場同じ内容です。)
 ※11月5日の大東支所市民交流センター会場には手話通訳者の派遣を予定しています。

手話講習会を開催しました

8月20日、全議員参加の手話講習会が開かれました。議員が手話を覚えることで、開かれた議会をさらに進めるとともに、手話への理解を促進することが目的。掛川市身体障害者福祉協会らあ部の松本久夫さんと小西孝一さんを講師に招き、あいさつや自己紹介など、日常的なコミュニケーションを図るための手話を学びました。



議会行政視察受け入れ実績(人数)

7月26日(金)	島根県浜田市 (9人) 地域健康医療支援センターふくしあ
8月 2日(金)	栃木県栃木市 (7人) Pepperを活用したプログラミング教育
8月 6日(火)	愛知県田原市 (10人) 議会報告会、政策討論会
8月 7日(水)	山口県光市 (10人) シティプロモーション推進計画
8月21日(水)	宮城県登米市 (10人) 議会報告会、政策討論会
8月26日(月)	広島県広島市 (3人) 協働によるまちづくり推進条例
10月 3日(木)	北海道登別市 (7人) 議員発議の防災条例
10月 4日(金)	滋賀県東近江市 (11人) 議会改革の取り組み
10月 8日(火)	和歌山県新宮市 (10人) 地域健康医療支援センターふくしあ

編集後記

市民の皆さま、「かけがわ市議会だより」をご覧になって頂き有難うございます。担当の議員8人と議会事務局職員1人の計9人で「議会だより」編集分科会を開き編集作業を行います。今回より表紙の題字を市内4校の高等学校にお願いをし書いて頂くことになりました。各ご家庭に届いた時に、「議会だより」とわかり表紙を広げたくなるよう又傍聴者数や視察に訪れた市町村とテーマを掲載し、常に議会の様子が分かるよう努めます。

広報広聴特別委員会

委員 鷲山喜久

傍聴席

地元議員さんからお誘いで、今回3回目の傍聴となりました。市民の声と議員さんの思いをまとめて行政に問いかけ、よい掛川市作りをしようとする思いを感じました。

そんな中で、私的に感じた点を言わせてもらいますと、市長等の答弁にもう少し明確な回答が欲しいと感じました。「努力・検討します。」ではなく、誰がいつまでに何をするのかの回答が頂きたいと思えます。また、議員もそこまで追求しても良いのではないのでしょうか？

議員の発言・市長等の答弁に腹をくくった発言をして欲しい。そのような議論を市民は期待しているのではないのでしょうか？ 仲良し会議に見えたのは私だけでしょうか？

今福公生(浜区)

傍聴者数	9月9日	9月17日	9月18日	9月22日	9月24日	9月25日	9月19日	9月24日	9月25日
	96人	86人	82人	2人	20人	0人	1人	0人	1人

今号の表紙

背景は、大東図書館所蔵の葛布見本帳です。

題字は、静岡県立横須賀高等学校書道部のみなさんにいただきました。



横須賀高等学校書道部のみなさん



※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。

